

2023年10月12日

双日プラネット株式会社

バイオプラスチックセミナーを開催しました

双日プラネット株式会社（以下「双日プラネット」）は、2023年10月5日に、千葉市でバイオプラスチックセミナーを開催しました。

サステナブルマテリアル展（2023年10月4日～6日、幕張メッセ）への出展に合わせて企画したもので、幕張メッセ近接のホテルスプリングス幕張のホールを会場に、取引先（ブランドオーナー、成型・加工メーカー、資材・容器ベンダー、材料メーカーなど）の約400名に参加いただき、下記3部構成で実施しました。

<セミナーについて>

講演内容：

1. I'm Green Polyethylene the bio-based drop-in solution for the circular economy

講演者 Tim Wagler 氏

Braskem Singapore Asia Sales Leader for Polymers, Bio-Polymers,
and Circular Economy

2. 双日・サステナビリティ Bio-MEG, Bio-PET の取組み

講演者 服部佑一氏

双日株式会社 基礎化学品部 ベーシックケミカル事業開発課 課長

3. バイオものづくりを取り巻く動向と今後の道行き

講演者 染谷智之氏

経済産業省 商務情報政策局 商務・サービスグループ

生物化学産業課 課長補佐

講演概要：

講演1では、双日プラネットが取り扱う、Braskem社バイオマス由来ポリエチレンの I'm Green Polyethylene™（通称グリーン PE=GPE）について、①原料がサトウキビ廃糖蜜100%（セグリゲーション方式）であること、②100%リサイクル可能であること、③従来の石化ポリエチレンとの置換えが容易であること、の3つの特徴とともに、CO2排出の観点で、カーボンネガティブ（=CO2吸収効果が放出効果を上回る）な特徴について説明しました。また、同じサトウキビ廃糖蜜由来の新たなバイオマス製品、グリーン EVA やグリーン PEWAX についても、双日プラネットと Braskem 社との間でアジアでの用途・製品の新規開発に着手していることや北米でグリーン PP 樹脂事業(2027年稼働予定)も共同で検討していることを紹介しました。グリーン EVA は、すでに株式会社アシックスに靴底用途で採用されています。



（講演される Tim Wagler 氏）

講演2では、双日株式会社と Braskem 社との合弁会社である Sustainea 社において、PET 樹脂の主原料の1つ MEG のバイオマス化に向けた取り組みを紹介しました。

Sustainea 社はバイオ MEG の製造に向けてデンマークの Topsoe 社と画期的な技術を共同開発しており、2024年に技術確立、2027年に初号機稼働を目指しています。

併せて、もう1つの主原料である PTA についても、木質由来のバイオ PTA 事業を推進している米国 Origin 社と戦略的パートナーシップを締結しており、Sustainea 社は100%バイオマス原料による PET 樹脂製造の実現を目指す姿勢を説明しました。



(講演される服部佑一氏)

講演3では、2019年に「2030年に世界最先端のバイオエコノミーを実現」という目標とその実現に向けたバイオ戦略を政府が策定したこと、2050年にカーボンニュートラル実現を目指すこと、2021年にはバイオプラスチック導入ロードマップ（2030年までにバイオマスプラスチックを約197万トンを導入）を公表したことなど、政策面の経緯をご説明いただきました。

コロナ禍や国際紛争といった外部環境変化を経験する中で、「米国が今後10年間で世界の製造業の1/3がバイオにシフトすると予想したり、中国がバイオものづくり分野で11兆円以上の戦略的な投資を決定したりしている中で、日本政府もバイオものづくりの分野で2023年度に総額約4,800億円の関連プロジェクトを開始していること」、「原料制約の解消（調達安定化）、市場予見性を高めることによるバイオものづくりの事業環境整備、バイオ製品を受容する市場環境整備（消費者理解・市場拡大等）をバランスよく進め、日本の持つ重要技術を活かしたバイオものづくりの振興を図っている現状」について、簡潔にご説明いただきました。

マスバランス方式を巡る政策動向に関する質問に対して、「今後のマスバランス方式の扱いについては環境省の研究会で議論されているものの、現時点では、前述のロードマップで示されている197万トンの内数には入らないと考えられていること」をご説明いただきました。



(講演される染谷智之氏)

セミナーに引き続き実施した懇親会では、セミナー参加者の6割を超える約250名の皆様に参加いただき、講演者と参加者、また参加者同士で、自由に意見や情報を交換しました。



(セミナー終了後の懇親会)

<サステナブルマテリアル展（東京）出展について>

Braskem 社製品のグリーン PE を6つのカテゴリー（①食品/飲料、②化粧品/医療品、③日用品、④物流、⑤他樹脂との組み合わせ利用、⑥その他）に分類しサンプル展示するとともに、今回新たにグリーン EVA、グリーン PEWAX の展示を追加しました。

グリーン PE では前述の展示に加え、10月4日・6日の2回、Braskem 社よりショートプレゼンテーションを行いました。また、協賛パートナーである包装資材専門商社の株式会社シモジマより、グリーン PE を用いた製品の他、共同開発したストレッチ to ストレッチのリサイクル製品も展示しました。



(Braskem Tim Wagler 氏によるショートプレゼンテーション)

グリーン EVA は、すでに株式会社アシックスの環境に配慮したスニーカーに採用されており、同樹脂を使用した製品を展示しました。用途開発で先行する欧州では、靴底やヨガマットなど発泡製品に用途が限定されていますが、双日プラネットは、Braskem 社とともにアジアで、多層フィルム/シート用途・封止材などの工業用途の開発も進めていきます。

グリーン PEWAX についても、コスメティクス・接着剤・インキ・マスターバッチなど、アジアでの多用途展開を Braskem 社とともに進めていきます。

【本件に関する問い合わせ】

双日プラネット株式会社 環境パッケージング BU 03-6871-2519